

モンゴル国ゲル地区に於ける生ごみの有効活用 による循環型社会の構築と生活環境の改善

活動地域  モンゴル



住民との意見交換会

課題

生ごみ堆肥化技術の向上、活動リーダーの育成、活動の持続性担保の仕組み作りと啓蒙のための市民向け体験型コミュニティ施設の設定構想立案。

目標

活動地域住民の廃棄物の再資源化意識が50%向上。
活動地域の生ごみ分別家庭が10%増加。



今後の展望

活動の拡大と定着を目指し、本年秋にはリーダー候補を日本に招聘し、研修を行う。その後は日本側とモンゴル側が定期交流をし、地球温暖化や生物多様性について国境を超えた市民活動にする。

はじめる助成

1年目

知識の提供・普及啓発

活動内容と成果

昨年6月、3年振り現地を訪問、住民への技術相談や討論を通して状況を把握。帰国後オンラインによるリーダー育成セミナーの開催とコミュニティ施設の基本構想を立案した。セミナーは定期的に3回実施し、さらに継続中でリーダー候補10人の他、約30人が参加する。

その結果、堆肥生産量は目標の昨年比1.5倍をほぼ達成し、家庭ごみの再資源化意識も住民の62%に至った。



ゲル地区遠望と
堆肥化・野菜作りの現場

廃棄物の再資源化意識 **62%**

生ごみ堆肥生産量 **589 kg**

今年度計画の達成度 **100%**

全体計画の達成度 **100%**

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

新型コロナウイルス禍で活動予定が立ちにくいこと。
オンライン会議では真意が伝わり切れないこと。

■ 工夫した点

細かいことに拘らず柔軟に対応する。

〒520-0047
滋賀県大津市浜大津4丁目1番1-1402号
電話：077-525-4190
E-mail：tsutomu.yana@nifty.com